

平成28年11月7日  
東日本高速道路株式会社  
北海道支社

## 冬到来！冬用タイヤへの交換をお急ぎください！ ～冬用タイヤ装着状況調査の結果を公表します（第3弾）～

NEXCO東日本北海道支社（札幌市厚別区）は、冬用タイヤへの交換を喚起し、雪道運転の安全走行を啓発することを目的に、高速道路における冬用タイヤの装着状況調査結果を公表いたします。

各地で積雪が観測され、市街地においても除雪作業を実施しております。冬用タイヤへの交換をお急ぎください。

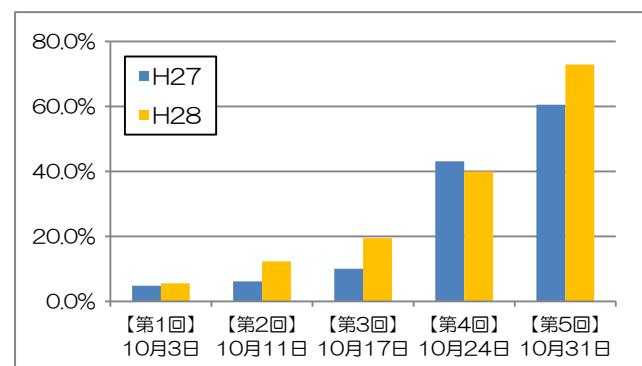
本調査は装着率が80%程度になるまで実施する予定で、今回は3回目のお知らせとなります。

### ●調査結果

調査箇所（※）		調査日/冬用タイヤ装着率	
		【第5回】 10月31日	【昨年（H27）調査】 11月2日
道央道	大沼公園IC付近市街地	68.9%	51.0%
	室蘭IC付近市街地	64.1%	68.4%
	苫小牧東IC付近市街地	58.8%	70.6%
	北広島IC付近市街地	75.2%	75.0%
	岩見沢IC付近市街地	100%	85.0%
	旭川鷹栖IC付近市街地	100%	（データ無）
札樽道	朝里IC付近市街地	97.1%	60.4%
道東道	音更帶広IC付近市街地	66.7%	48.7%
	十勝清水IC付近市街地	81.8%	80.6%
	全体	72.9%	60.6%

※調査場所は、各インターチェンジ（IC）付近の商業施設等の駐車場で実施しています。

調査結果から見る傾向としては、前回調査から冬用タイヤの装着率は大きく上がり、岩見沢・旭川地域では100%に到達しました。一方で大沼・室蘭・苫小牧といった道南地域では、昨年と比べ装着率が低い状況です。道内各地で積雪が観測されています。冬用タイヤへの交換を急いでいただくようお願いいたします。



## 2. NEXCO東日本北海道支社からのお願い

### ・『降雪・路面凍結前に早めの冬用タイヤ装着』をお願いします。

夏用タイヤは積雪・凍結路面でスリップを起こしやすく、重大な事故につながる可能性がありますので、早めの冬用タイヤ装着をお願いします。

### ・『雪道での運転はスピード控えめ安全運転』をお願いします。【参考資料1】

シーズン初めの雪道は、雪道運転の感覚が戻っていないので、冬用タイヤを装着していても、車間距離を十分取ってスピードを控えめに。急ハンドル、急ブレーキなどの操作は行わず、安全運転をお願いします。

### ・『お出かけ前もお出かけ中もこまめな情報収集』をお願いします。

冬の高速道路は天候が急変します。お出かけ前はもちろん、お出かけ中も道路情報や気象情報などの情報をこまめに確認し、ゆとりある運転をお願いします。

NEXCO東日本の情報サイト『ドラぷら』では、渋滞予測や冬の高速道路講座などの情報を適用しています。また、『ドライブトラフィック(ドラとら)』では高速道路の気象(雪道)予測や路面状況(雪道ライブカメラ)の情報を提供しております。

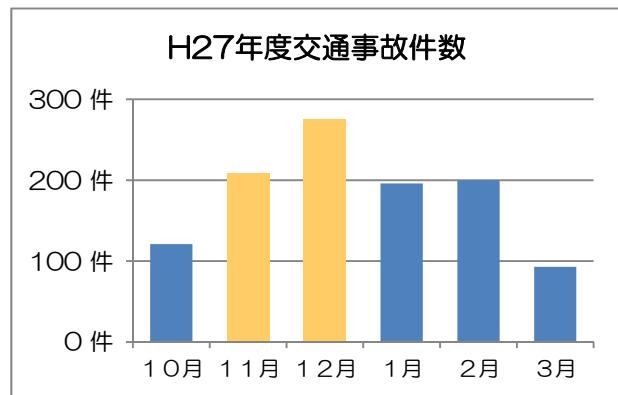
※ドラぷらアドレス <http://www.driveplaza.com>

※ドラとらアドレス <http://www.drivetraffic.jp>

## 【参考資料1】

### ●初冬期は事故が多発！

夏道運転の感覚で運転したり、冬用タイヤ未装着により初冬期は事故が一時的に増加します。



H27 年度交通事故件数(NEXCO 東日本調べ)

### ●シーズン初めの降雪日

例年、10月下旬から降雪が観測され始めます。今年はすでに各地で初雪が観測されています。

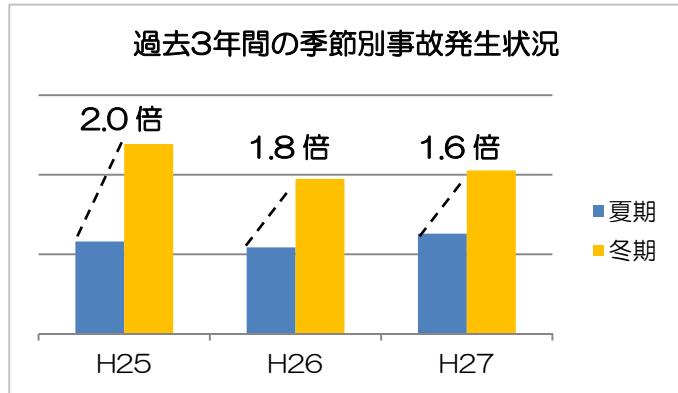
北海道の雪の初日の観測状況  
(気象庁札幌管区気象台調べ)

観測官署	初雪日		
	平年	昨年(H27)	本年(H28)
旭川	10月23日	10月13日	10月20日
札幌	10月28日	10月25日	10月20日
帯広	11月7日	10月25日	10月24日
室蘭	11月1日	10月25日	10月24日
函館	11月3日	11月23日	10月30日

### ●北海道では冬期の事故が夏期の約2倍発生！

北海道では冬期(11月～翌4月)の事故件数が、夏期(5月～10月)の事故件数の約1.6～2倍に上ります。

H25～H27 年度交通事故件数(NEXCO 東日本調べ)



H25～H27 年度交通事故件数(NEXCO 東日本調べ)

### ●滑りやすさはこんなに違う！

雪道は道路(路面)自体が滑りやすくなります。

#### 摩擦係数

0.7～0.9乾燥路

0.2～0.4圧雪路 3.2倍

0.1～0.2凍結路 5.4倍

0.1未満凍結路 (つるつる凍結路面) 8.0倍

注)摩擦係数とは、タイヤと路面間の摩擦力の大きさを表す指数をいい、指標が小さいほどすべりやすいことを意味しています。

滑りやすい路面状況((一社)日本自動車タイヤ協会調べ)